

第1回 「システムズエンジニアリング最前線」

スキルマネジメント協会 (SMA) では「次世代システム開発技術とスキル研究委員会」という新たな委員会を設け、講演会等を通じて、次世代の先進的なシステム開発技術を研究し、各企業におけるシステム開発力と技術者スキルの向上に関する知見を得ることとなりました。第1回のテーマは、大規模・複雑化する複合システム (System-of Systems) の開発手法として注目されているシステムズエンジニアリングを取り上げます。

組込みシステム技術協会共催の下で第1回目セミナーを下記の要領にて開催致します。システムズエンジニアリングに関心をお持ちの皆様方のご参加をお待ちしております。

主催 スキルマネジメント協会 次世代システム開発技術とスキル研究委員会
共催 組込みシステム技術協会 安全性向上委員会

日付 2014年4月25日 14:00~17:30 (13:30 から受付開始)

プログラム

■講演1 「システムズエンジニアリングとMBSEの現状と産業界への影響」

嶋津恵子 博士(システムエンジニアリング学)

INCOSE 発行 Systems Engineering Journal 日本人初共同編集者

概要

システムズエンジニアリングのライフサイクルプロセス標準(ISO/IEC15288)とその派生標準書で示している手法の特徴を解説し、INCOSE(International Council on Systems Engineering)が発行する SE ハンドブックの中で説明されている実務への展開方法を説明します。また、システムズエンジニアリングの手法の中で最近特に注目されているものの一つにMBSE(Model Based systems Engigneering)がありますが、この導入によって産業界におけるシステム開発にどのような影響が発生すると考えられるのかお話しを加えます。

■講演2 「日本型システムエンジニアリングにおける SysML 活用法」

株式会社オージス総研

組み込みソリューション第1部 マネージャ

青木 淳 氏

概要

最近MBSEが注目されていますが、欧米の手法をそのまま日本のシステム開発に適用しても機能しません。すり合せによるシステム開発を行ってきた日本では、個人の頭の中にある情報を共有する為にモデルを活用する必要があるからです。すり合せ開発におけるSysMLモデルの活用方法を、弊社の豊富なユーザー支援実績から得た知見を元に説明していきます。

■講演3 「機能安全を実現するために SysML を活用」

組込みシステム技術協会 安全性向上委員会

株式会社レンタコーチ

中村 洋 氏

概要

機能安全規格は、安全要求をトップダウンに定義することを要求しています。これに対応するためには、従来型の開発を見直し、システム視点で要求やアーキテクチャを設計するプロセスが必要となります。このシステム設計プロセスに、SysMLを活用してどのように取り組むかについて、代表的な図式を紹介しながら説明します。

参加料 2,000 円（税込み、講演資料代含む）
但し、スキルマネジメント協会会員および組込みシステム技術協会会員は無料

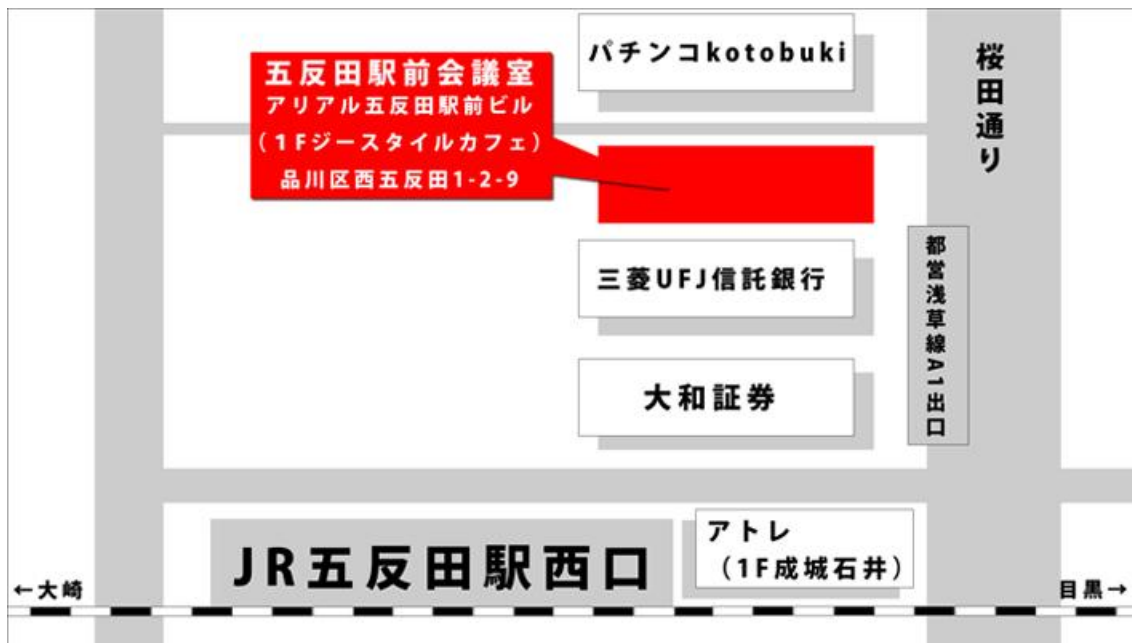
申込み方法 下記まで、「研究会参加申し込み」というタイトルで、会社名、所属、参加者名、SMA 会員または JASA 会員か否かをメールでお送りください。

受付 スキルマネジメント協会 事務局 佐々木 宛て

メールアドレス : secretariat@skill.or.jp

会場 「アリアル五反田駅前会議室」

会場地図



東京都品川区西五反田 1-2-9 アリアル五反田駅前ビル

JR 線・東急池上線五反田駅から徒歩 1 分

浅草線五反田駅 A1 出口から徒歩 30 秒



Skills Management Association

スキルマネジメント協会

<http://www.skill.or.jp/>